

◆◆分散型 TEKUーTEKU その 11 「港北ニュータウンを知る、歩く」◆◆
◆◆活動記録＋評価結果◆◆

- 企画主旨： わが国の代表的ニュータウンの一つ、「港北ニュータウン」。東横線と田園都市線には含まれた、横浜都心の北北西、東京都心から約 25 kmに広がる約 1,300ha。現在、20 万人ほどの方がお住まいです。このニュータウンは、飛鳥田横浜市政時代に「横浜市6大事業」の一つとしてスタート。わが国最大級の土地区画整理事業を軸に開発が進められました。千里、多摩より後発の分、先人の苦勞を受け、様々な工夫がなされています。（農業との併存／市民参加／「グリーンマトリクスシステム」／申出換地など換地の工夫／…）このまちも入居開始から来年で 40 年（※）。今回は、このまちを訪ね、様々な工夫を体感し、さらに、このまちのこれからの発展を考えてみたいと思います。

※事業スタート:1969 年（都市計画決定）、入居開始:1983 年、事業完了:1996 年（換地処分）

- 企画説明： 2022 年 6 月 12 日（日） 20 時～（オンラインにて開催）

- 歩く期間： 2022 年 6 月 13 日（月）～8 月 31 日（水）（この間、各自で歩く）
※リアルまち歩き 2022 年 8 月 21 日（日） 14 時～17 時（当初予定 7 月 16 日（土））

■標準コース：

□その1 「タウンセンターを歩く」

センター南地区（すきっぷ広場、歩専道、小径、大型商業施設、民有地の小規模複合ビル、駅広、駅ピアノ）
→みなきたウォーク（早淵川、区民文化センター建設地、歴史博物館、シンボル道路）
→センター北地区（芝生広場、大型商業施設、民有地の小規模複合ビル、駅広、歩専道、小径）

[地下鉄で、センター北駅⇒仲町台駅 へ移動]

□その2 「駅前センター＆グリーンマトリクスを歩く」

仲町台駅前地区（駅広、歩専道、商店街）
→「グリーンマトリクス」（せせらぎ公園、茅ヶ崎公園、大原みねみち公園、…）、
プロムナード仲町台・ボナージュ仲町台、ドイツ学園、集合住宅の公開空地、歩専道、…
→センター南地区

- 参加者（評価提出）： 井手幸人、大塚理奈、栗原徹、重永真理子、原久子、藤井正男、藤井幹也、古里実（*）、村田英樹（五十音順、9 名、（*）分散型での参加）

- 企画・当日案内： 椿真吾（コーディネーター）、脇秀行（株横浜都市みらい）

■評価結果とコメント

1(1)センター南地区

評価3. 44 内訳 AAABBBBBC



センター南駅前に広がる歩行者空間



小規模ビルの間を抜ける路地（歩専道）

- A: 駅前を計画的に居心地の良い空間として計画した好例である。適度な広がりとコミュニティを意識したステージ、歩行者中心の計画は、人中心の色褪せない計画技術の実践である。
- A: 起伏のある地形を活かして完全な歩車分離を実現している。駅を出ると商業施設で囲まれた歩行者広場があり、車が全く見えないのがいい。
- A: センター南駅周辺は生活利便施設が集積しデッキ等で有機的につながり生活しやすそうだなと思いました。居住者の方がうらやましい。
- B: 駅西口側の歩行者広場と東口側の交通広場の役割分担が明快（他の駅も共通）。西口の高低差を活かしたスキップ広場は家族連れなどが思い思いに使い、活きた空間になっている。建物のデザインや色使いがバラバラなのが気になった。
- B: 歩行者専用の広場空間は、安全で歩きやすい。イベントもできそう。
円弧を描いた屋根付きの通路も日射や雨を避けて、人の流れを誘導するデザインとして評価できる。
土の公園の部分は、誰が使うのか分からない中途半端な空間になっているのが残念。芝生広場とか、キッチンカースペースとかいい空間になればいいと思います。
- B: 広場、サウスウッドなど横浜らしい洗練感を感じます。路上ライブができるフリースペースの試みなど頑張ってほしいと思います。
路地風の空間や個性的な小さなお店など魅力的と思うのですが、日常生活の場面で利用するイメージが浮かばない。
- B: 今回、皆さんと歩いてみて、東急の南側ビル街もファサード等を意識してデザインされていると再認識しました。駅近なのにウィンドーショッピングを楽しむ店舗がないので、通りを歩く必然性がなく寂しい空間になっているのもったいないです。今の落ち着いた雰囲気を生かしつつ、壁面が多い点を逆手にとって思い切って、期間限定でもよいので新たにフォトジェニックアート（SNSでの映えを意識したおしゃれなロゴの看板、ベンチや小物を配した店先、壁面アート）の演出をして、人が撮影目的で訪れて散策する街にしてみてもどうでしょうか。東急SCや公園目的で訪れた友達同士、デートのカップル、子供とママ友のグループ等、普段は訪れない人が足を運ぶようになると、このエリアのイメージも変わると思います。
- B: 駅ができた頃は 隣接のサイドのビルがなく、駅の外から駅の高低差の地形が見え、駅にも光がたくさん入っていたので、暗くなっていた残念。丘というか高低差の魅力を感じる駅前ではなく、今、高低差は、上り下りが面倒というネガティブな要素に感じられる。
- C: 開発から時が経ち、各施設の老朽化がこの南地区で目に付いた。建物本体だったり、歩道や歩道橋のタイルが割れていたり、雑草が生えていたりなど。街自体に寂れた印象は無いので、もう少しメンテに費用を掛けられれば良いのだが。



鉄道高架間を進むみなきたウォーク



建設が進む区民文化センター

- B: 歩行者通路はできたものの、沿道を計画できなかったところが残念。人が流れる必然性が微妙であり、街並み全体での位置づけと沿道の賑わいづくりが課題である。
- B: 線路沿いの一直線で単調かなと思ったが、高低差があり、早淵川の風景や萩の堰の元地蔵尊、吾妻山公園などのアップダウンを楽しめ、歩くコースとしては決して悪くないと感じた。高架下利用はパン屋さんなどの事例がもっと広がると良い。
- B: センター北駅から建設中のボッシュの前まで、歩行者がまっすぐに歩ける通りになることを期待します。早淵親水公園は、草丈が低い時期には平日でも遊びやピクニック等にぎわいます。できれば橋側の一部だけでも草刈りの回数を増やすと、公園で遊ぶ人が増えると思います。管理ができれば、休日や平日のランチやおやつ時にキッチンカーが来る日があっても面白いと思います。
- C: 市営地下鉄ブルーラインとグリーンラインに挟まれて歩道は南地区と北地区を最短で結ぶ便利な通りだと思いますが、ちょっと無機質。両脇にもう少し緑があるといいですね。
- C: 現在は機能だけでつまらない。センター南駅を出たところに、人が留まれる広場と植栽。歩きながら見えるものも雑然としている。途中の早淵川の景観を生かす。センター北付近では歴博公園の緑を感じさせるしかけ。沿道に植栽やフラワーガーデン、収穫できる菜園ロード(保育園と連携)など植物で温かみを演出してはどうか。今後できる市民ホールのウォークへのはみ出し感の演出、一緒にマルシェやクラフトマーケットの市民参加のイベントに活用とか。
- C: 管理が大変かもしれませんが、やはり高木による緑陰がほしい。
途中で横切る早淵川は雑草がうっそうとしており残念。ウォーターフロント整備が望まれます。
歩いていて気持ちよければ、高架下を利用しようという店舗も出てくるのではないのでしょうか。
- C: 駅間を歩いてもらうには、連続性のある魅力的な動線を作り出す事が必要。当日皆でも話したが、早淵川を越える辺りで景観を整え人が集えるスペースを作るとか。その他スケートボードの練習施設/大道芸/ストリートミュージシャンなどが使えるスペースなど。これらの設置にはリスクは有りますね。
- C: 実際、ニュータウンや周辺の住民が日常生活の中で、センター南⇄北の間を行き来する必要があるのか疑問です。高齢化やニュータウンの生活それ自体結構歩くので、センターに来てまで歩きたいと思うかなあ、と思いながら歩きました。
そこで、わざわざ南⇄北の間を行き来する楽しみをつくる。
・北にあって南にないもの、南にあって北にないもの
・南と北の間にあるものの魅力・・・以前は早淵川河川敷の広々とした自然空間、だと思っていましたが、その印象が薄れているように思います。
・歩く以外の楽しい交通手段・・・遊園地の乗り物のイメージ、歩く位のスピードで乗って移動しながら周辺も見る、細かく停止してお店に立ち寄る。
- D: そもそも、歩行者通路を周辺と隔離された2本の鉄道の隙間に通すという発想が間違っており、街に面した部分にきちんと歩行者通路を整備するのが本筋だと思う。
この空間を活かすとしたら、鉄道高架下の空間も一体利用することを前提とし、公共的な制約をできるだけ無くした上で、下北線路街のような地域参加型の民間開発の仕掛けを導入すれば、面白い提案が出てくるのではないかな。



センター北 階段広場



階段広場からシンボルロード、歴博

A: センター南と同様、駅間を人中心に計画した好事例である。南と違った芝生広場は、憩いの場所として秀逸であり、地形の制約を解消する歩行者デッキも有効に機能している。

(ちなみに、幕張の海浜幕張駅前は、計画性の乏しさから今見ると非常に貧弱な駅前空間となっている。)

A: ノースポートと阪急による2核のショッピングモールになりつつある。その周囲にもおしゃれな店舗ができていて、人が集まるエリアになっている。中層の建物に囲まれた芝生広場で小さな子供が走り回っているのが印象的。

百貨店が撤退している中、地域の品格のバロメータになる阪急には残ってもらいたい。

A: 多くの子供連れの家族が駅前の商業等の施設で囲まれた芝生の広場(建物高さと広場の大きさが心地よい)を利用していました。南より賑わっているのは商業施設が充実しているからでしょうか？

A: 「阪急～芝生広場(駅)～ノースポート」の動線上で、レジャーや飲食、物販の目的に事足りるのでとても利用しやすいです。動線の中心の芝生広場は車や自転車の通行も無いので幼児の利用に最適です。観覧車をバックに小さい子供と親が遊ぶ姿は、港北NTのイメージアップにも貢献していると思います。コロナ前のヨツパコとプレミアヨコハマは、ママ友グループのランチで賑わっていましたが、現在はコワーキングスペースの店舗が増えたので少し寂しいです。でも、人の多いSCとは差別化をして、駅前の立地を生かした通信教育学校の常設スクーリング教室や大学のサテライトがあっても良いのではと思います。個人的には天井が高めの広い空きスペースがあれば、コスプレイヤー向けの貸しスタジオも面白いかと思っています。特にロケが可能であれば、夜の観覧車を背景にできる芝生広場やプレミアヨコハマの屋上、ライブの舞台装置の様なヨツパコ横の階段広場、様々な時代の歴史モノに対応できる遺跡公園や歴史博物館など、ここならではの一枚が撮れると思います。

B: 地形の起伏を利用して歩行者空間を整備しているのはセンター南と同様だが、階段状の噴水広場の空間があまり使われていないのが残念。

B: 駅前広場に大きな芝生のスペースがあり周辺に多くの人が集っていた。南地区と違い駅前広場周辺は古びた印象は無く活気がありました。

B: 家族連れも楽しんでいる芝生広場が良い。すり鉢状の階段広場はほとんど人がいない。キュービックなデザインの建築などに好感がもてた。

B: ふじやとの道やくさぶえの道とその周辺をよく歩きますが、センター北の広場に来ると「まちに出てきた感」が感じられます。観覧車が遠くからでもよく見えランドマークとしてわかりやすい。

「よつばこ」とノースポートモールの間から歴博の建物を見る軸線にこれまで気づかずいたことが申し訳ない思いです。シンボリックな軸線になっているのに活かしていない残念さがよくわかりました。

C: 歴史博物館周辺が文化ゾーンになることを期待していた者としては壁のようなマンション街になってしまい、建物の壁面の圧迫感があり空や緑感が少なくなってしまったことが残念。歴史博物館とセンター北駅広場とのつながりも分断されている。駅前の商業ビル群はセンター南より新しく、若い人向けのテナントもあり、賑わいがある。

2(1)仲町台駅前地区

評価3. 88 内訳 AAAABBBBBB



プロムナード仲町台



仲町台駅からグリーンマトリクスへ抜ける

A: 駅周辺の街区は、中低層で、1階には個性的な店舗が点在して、とても豊かな空間になっている。斜面緑地を利用した緑道も近く、散歩やジョギングにも最適。水路や高木も多いので、夏は涼しく気持ちいい。管理は地域住民でされているのでしょうか。

プロムナード仲町台もよく作り込まれた公園らしいデザインで、管理も行き届いていました。

A: 仲町台の駅前からグリーンマトリクスに至る通りがとてもいい。緑の並木、建物のスケール感、魅力的な店舗、通りの先の水と緑といった様々な要素が非常にうまくバランスし、心地よい空間を生み出している。

A: 駅前から広がる通りは街づくり協定で、店舗(色彩、材質など)と緑などの作り込みがよくできているので、歩いて楽しい空間でした。

A: こじんまり感がとてもよい。

面白そうなお店もあり、日常生活の中で、グリーンマトリクスの散歩と組合せながら立ち寄れそう。

B: 住宅地の駅前空間として、適度な密度と賑わいが形成されている。建物の低層階を店舗に義務付け、経済的合理性が優先されない計画としているところが良い。

B: 本地区は「郊外の住宅街」というポジション。駅周辺に広場や小さな飲食店が幾つかありそれが途切れるとグリーンマトリクスへと続く。戸建ても多い落ち着いた雰囲気でもなかなか魅力的。

B: 少し歩くと地元の方経営とおぼしき八百屋やイタリアンなどのお店が並び、チェーン店にはない良さがある。

B: センター南や北と違い、小さい規模の店が並びヒューマンな感じ。グリーンロードの誘導する感じがほしい、また駅前からボナージュの緑道への誘導というつながりが弱いことで、グリーンロードという財産が駅前に活かされていないのが残念。

B: 仲町台在住です。仲町台はNT在住の人からは車でアクセスできないため、店や公園に行きたいけどなかなか行けないエリアだと言われているのが残念です。小さな駅ですが駅の周りに最寄り品は揃っていて、徒歩だけでも生活できるのが気に入っています。歩いた仲町台のおしゃれな通り？は、横浜市営地下鉄でも駅のある町のイメージポスターになりました。でもこの通りには？がつくように名前がないので、他のエリアの人に説明がしにくいのです。広場とおしゃれな通りには、名前をつければよいと思います。仲町台は駅前からは分かりにくいのですが、一つ裏には隠れ家的な飲食店(特に夜)がある大人向けの食の充実したエリアです(年1回のグルメフェスタ、呑みコン乾杯フェスタが人気)。この先NTにもっとシニアが増えてきたら、他のエリアから来てゆったり遊歩道を散策してきた人が、仲町台で食事をしてほろ酔い気分でバスや電車、タクシーを使って帰る。そうすると素敵だなあと想像しています。



大原みねみち公園



茅ヶ崎公園

- A: 自然地形を生かした緑地や水辺がネットワークされていて素晴らしい。隣接する共同住宅地の公開空地が公共緑地と一体になっているところも感心した。管理も比較的に良くされている。
- A: 当時は造成によって自然を改変することが当然の時代だったように思うが、その中であって既存の緑と水の流れを保全、活用する計画技術を、あたりまえのように実践しているところが素晴らしい。
- A: 住宅地に近接してこれだけのボリュームの緑の空間があることはとてもいい。欲を言えば、グリーンマトリクスの中や面した立地にカフェやレストランがあると更に魅力的になる。
- A: 駅から少し歩いたら、こんなに自然が残っているとはビックリしました。茅ヶ崎公園で親子が自然とふれあう姿、ジャギングする方々羨ましい。茅ヶ崎公園プールもよかったなあ。大原みねみち公園のせせらぎと小さな橋とても素敵でした(イギリスのフライフィッシュができる小川のようなようでした)。
- A: 各所有者からの供出分と合わせて連続性のある緑地はとても魅力的。活用度も高そうで、当初の狙い通りの使われ方。後日、もう少し広い範囲で歩いてみたい。
- A: 港北ニュータウンの財産のひとつ。距離もありよいと思う。センター南近くのメゾンふじのき台の一部が高層になってしまったのは残念、ご事情があると思いますが
- A: 河川や斜面地を利用した、今で言う「グリーンインフラ」の実践事例として高く評価できると思います。
街の近くに連続した水路と緑道があると、街にうるおいが生まれています。
ただし、防犯上はちょっと怖そうですが。
- A: 数年前に冬の夕方時間帯に、仲町台周辺のグリーンマトリクスを歩いたことがあり、「夜間」を不安に思いました。住宅地側の法面緑地とも一体的に緑地空間・自然環境を創り出して自然を享受できることはすばらしいと思う反面、最近の「夜間」はどうでしょうか。(山田富士公園の近くなどは夜間も走る人、犬の散歩などかなり人通りがあり、集合住宅の夜景も美しく、夜間も不安を感じずに歩いています。)
- A: ただ広い緑地が面であるのではなく、地形や従来の緑地を生かして歩車分離の遊歩道として保存したことに価値があると思います。管理は大変だと思いますが、このおかげで四季折々の移ろいを感じながら、安全に駅や学校にアクセスできるので、計画された方々に感謝です。居住者は日常的にグリーンマトリクスの遊歩道を利用しているので、この贅沢な空間の価値をあまり意識していないようですが、以前、通勤族の方が子供と犬のために関西の本社に戻りたくないと言っていたのを思い出しました。グリーンマトリクス沿いでは仲町台にだけ、緑道に面したオープンテラスがあるレストランがあり、どこも人気です。このような店舗が今後、他エリアにも何カ所かできると良いと思います。

A: センター地区のにぎわい、低層から中高層の住宅地、申出換地や地区計画による用途コントロール、歩車分離、斜面地や河川を利用した緑道ネットワークなど、ニュータウン全体の計画を踏まえながら、民間の商業やマンションなどの新たな開発をうまく誘導していると思います。

商業施設としては、オーバーストア気味ですが、開発余地も必要なので、やむを得ないかもしれません。

A: もともと丘陵地であったところを大きく改変するニュータウン事業であったが、そのデメリットを小さく、メリットを大きく活用する計画技術を体感できた。

A: 周辺住民として、商業施設、グリーンマトリクス of 自然環境を大変に享受して生活しています。商業施設は、すぐ目につく大型店しか利用しておらず、使いこなしていないこともわかった。

文化の軸線をもっと PR してください。

A: 地形の高低差を活かした駅前整備や地権者の土地利用の意向を反映した申出換地、そして谷戸の自然地形を生かしたグリーンマトリクスなど先進的な取組がなされており、丘陵地開発型区画整理事業のお手本だと思う。

A: 駅近くの生活利便施設の充実、周辺には豊富な自然、とても住みやすい成熟した NT だと思いました。

B: 緑が多く商業施設や歩行者空間も充実しており、ニュータウンとしては非常に良くできている。しかし、全体としてキレイすぎて古い建物や路地が無いなど、歴史の蓄積や街の奥行きが感じられず、本当の意味で魅力的な街にはなっていない。

B: 駅前が大手流通テナントに依存する消費の町になってしまった感じ。市民参加のまちづくりとして換地という手法によって地権者＝事業主として参加されているためか。事業主主体のまちという感じがする。事業主のレベルが様々なのが表れてしまっている。事業主だけではなく住民参加のまちづくりもなされていると思うが、今回、うわべだけでは触れることができなかった。

B: 田園都市線と東横線の間、東名と第三京浜の間に位置し市営地下鉄2路線が乗り入れる港北ニュータウンはかなり恵まれた立地。強いて言えば都心直結の交通手段が無い事がウイークポイント。町並みの価値の維持に向けこれからが正念場という印象です。

B: 都心直通の鉄道路線沿線に居住する人からは、港北NTは乗り換えがあるから不便だと言われます。乗り換えを1回すれば、便利かつ自然豊かな生活ができる街ですが、住まないと分からない点がネックですね。ある意味、在宅ワークに適した街とも言えます。でもNT内での住替えは多いと実感しますし、近隣沿線の出身者が結婚を機にNT内に新居を構えることも多い様です。計画人口にはまだ 8.5 万人もの余裕があるので、今後の未利用地の開発や、社宅跡地等の開発に期待します。

4 自由意見

- 街のハード面は整ってきたので、今後はソフト面の充実が期待されます。特にアートや音楽など文化的な活動が、BOSCHと一体開発の区民センターやみなきたウォークから広がると、より豊かな街になると思います。
皆さんと一緒に地元を歩いてみて、普段の自分ではなかなか気づかない建物の魅力やグリーンマトリクスの素晴らしさを再認識しました。まだまだ変化する街なので、また数年後に駅付近だけでも皆さんと歩けたら嬉しいなと思いました。(r.o)
- 丘陵地の特徴を逆手にとり、人と交通を分離しながら、人中心の計画を、インフラと土地利用と立体的な用途構成といった計画技術を存分に投入した計画であることを認識できました。
少し前に、鶴見川の治水計画(日産スタジアムエリアの雨水貯留)の見学をする機会がありました。この計画の事業費は、すべて港北ニュータウンの負担金でできているとのこと。大きな視点で、自然との共生を、これまで以上に真剣に考えなければならない時代だと痛感しました。企画、ありがとうございました。(ma.fuj)
- URのニュータウン事業としては完了しているが、本当のまちづくりはこれから。この街の住民がまちづくりに参画し、それによって街が変化してゆくことが重要であり、そのための場をどう提供するかが今後のテーマだと思う。広場や道路など公共空間の活用、既存建物のリノベーションなどによって、住民が参画できる場を提供しつつ、それらを通じてまちづくりを牽引する人を見つけていくのが良いと思う。(t.k)
- 賃貸住宅が混ざっていることで住民世帯の一定の住み替えもあり、団地全体の高齢化に一定の歯止めをかけているのかなと思った。茅ヶ崎公園の深い斜面緑地に円形の公営プールがあるのにはびっくりした。この深い緑と豊かな公共施設環境の魅力を維持し、ライフステージの変化に合わせた住み替えを支援していくことが大切だと思う。(m.fur)
- 多摩 NT などと比べるとまだ若い方が多い NT です。先輩 NT の経験を活かし、今後の高齢化、人口減少などの問題に向け港北 NT がどのように対応していくか楽しみです(港北 NT の試みが全国の指針なるのでは)。それから、これだけの自然が残っているのですから、地域独自の食材や食文化を提供できる場所、店舗などがあると良いんじゃないでしょうか？観光にもつながるかも？？椿さん、脇さんご案内ありがとうございました。(h.i)
- 今後も区民文化センターとみなきたウォークなどうまく人々の流れをつくるような開発、整備を期待しています。丁寧なご案内ありがとうございました。(h.m)
- この地区はいつもは中原街道などを車で通過する事が多いのですが、今回初めて公共交通で訪れ足で町を歩きました。歩車分離が出来ていて車からの景色とは違った町並みを見る事が出来ました。ハードは整っているがソフトがもうひとつという印象です。(mi.fuj)
- 港北ニュータウンをすみずみまで活かす「生活スタイル」があるのだと思いました。(m.s)
- 期待していたまち**：港北ニュータウンは勤務先が近かったこともあり1980年代の地面を掘り道路をつくっている頃から2010年位までどんな街になるのかを期待していたエリア。さらに1990年代にはプロムナード仲町台(公団賃貸)に1年弱居住、2000年代は住宅メーカーの調査研究エリアとするなど関心のあるまちでした。
30年後はどうなるの？：最初30年前の居住者(高齢期に入る)と最近の居住者との融合はどうなっているのか。20年後、30年後はどうなっていくのかがみえない。センター南は既に古い感じのところも。同様のことはセンター北のテナントも起こる。東急沿線は住民の変化、住み続けられる街のしなやかさを再構築を行っているが、ここはどうするの？ また、文化的要素が弱い、高齢期の住民には文化がほしい。今は東急のシネコンとそれも事業は民間。今後の文化・市民ホールに期待。
消費に依存したまちにみえる：駅前のテナント群など、消費主体の受け身のまちにみえる。特に若い家族は既に出来上がった町として選択している。今の住民参加はどのようにになっているのか。エリアの経年によってそのエリア独自の暮らしと住民文化ができるしかけがほしい。
今どきの市民参加スタイルのしなやかさを：田園都市線エリアの子育て女性は都内でのフルタイムの仕事に行けるが、乗り換えを要するこのエリアでは近隣での仕事に従事している人が多いのではないだろうか、女性が自分の生きがいを感じるプチ起業化ニーズなども利用しつつ、市民参加のスローガンでできた街だからこそ、次はいまどきの新しい市民参加のスタイルとして生かしてはどうか(もうなさって入れたら失礼) 女性だけではなく、男性も含め、

在宅を含む働き方の変化など新しいライフスタイルに合わせたエリアになれると思うのでその視点でのまちづくりを。
開発を考えた時から暮らしのあり様は変わりました！柔軟でのびやかな対応を
ニュータウン？？港北ニュータウンはいまやNEWではないので「港北グリーンエコタウン」（緑と共存し環境を考えながら暮らすまち）、グリーンピープルタウンというような暮らしのコンセプトを感じる名前（呼称）にしてはいかがでしょう(h.h)

○コーディネーターより

このたびは、港北ニュータウンを対象に TEKU-TEKU の機会を与えていただき、また、コロナ禍、多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。

コーディネーターの私的事情で日程変更となり真夏のまち歩きとなりましたが、当日は、曇りがちの天候で、蒸し暑かったものの、何とか予定通り歩くことができました。

今回、皆さんと一緒にこのまちを歩いて、「本当まちづくりはこれから」という意識を改めて強く認識いたしました。諸先輩が様々な工夫を凝らして整備したこのまちを、より一層、魅力的にしていくにはこれからどうすべきか…。皆さんからいただいたあたたかいアドバイスを糧に、前進してまいります！